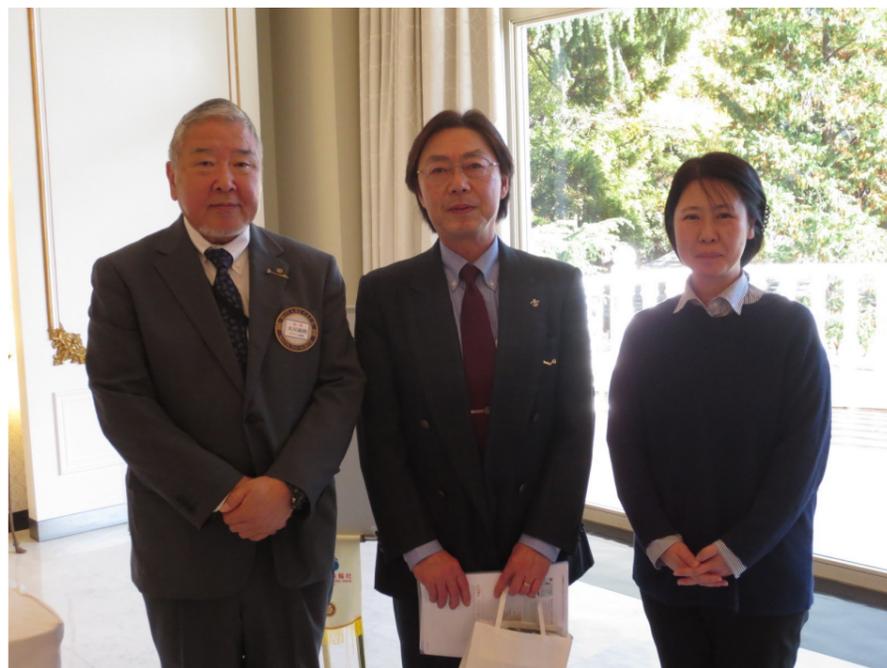


WEEKLY REPORT

自尊心を保持するという点については、今までの外出はその年の予算の範囲でどこか子どもが行きたいところに職員が連れて行くという形で行って来ていたのですが、昨年より子どもたち自らが、プレゼンテーションをして、審査員が審査をして合格になった子ども達が自分の夢を叶えられるというドリームチャレンジ方式というを取り入れました。子どもは「そんなのやっつけられないよ」と言うのではないかと思いましたが、非常に目を輝かせて、将来ジンベイザメの飼育員になりたい女の子は「大阪の水族館に行きたい。旅費が結構かかるので食事は全部たこやきでいい」という内容の計画書を作成してきました。さすがにたこやきだけでは栄養状態が心配なのできちんとした食事をとるように伝えたところですが、夢がかなって実際6時間程水槽の前に張り付いてジンベイザメをみてきたそうです。

ドリームチャレンジ方式のねらいは、小さい時から大人の前で夢を語って大人に思いを伝えて、それを実現するという体験をすることで、ひいては社会に出てからもまわりの人達ときちんとコミュニケーションをとれるような大人に育ててほしいという願いが込められています。これはまなび基金を始めとした多勢の皆様からのあたたかい思いやりから実現させていただいております。これら4つの目標を達成することで子ども達が、社会に認められ、自立して活躍できるよう日々努力を重ねているところでございます。

児童養護施設 晴香園
施設長 宮下 宏幸



左から大川会長、施設長宮下宏幸様、副施設長渡部愛子様

<ニコニコ発表:ニコニコ・出席・親睦委員会 小澤盛明副委員長>

松丸政司 会員

私の誕生日、妻の誕生日、結婚記念のお祝いを頂きありがとうございました。
放浪しておりました。

社会奉仕基金 2,600円 《会報編集委員》野澤新之助・鈴木悦朗・小林辰幸・関征啓

Rotary  2019-2020年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2275回 例会 2019年11月20日(水)

- | | |
|--------------------------|--|
| ■ 国際ロータリー会長 M・ダニエル・マローニー | ■ 例会日 - 毎週水曜日 12:30より (第1例会 18:30) |
| ■ 第2790地区ガバナー 諸岡 靖彦 | ■ 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■ 第13Gアシスタントガバナー 森谷 博 | ■ 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明 | ■ TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 柳 孝実 | ■ Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<2275回 例会プログラム>

| | | |
|-------|--|--|
| 12:30 | 点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】 | 大川高明会長 |
| 12:33 | お客様紹介 | |
| 12:35 | 会食 | |
| 12:55 | 例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告 | 大川高明会長 柳孝実幹事 |
| 13:05 | 卓話（分類：社会奉仕事業） 児童養護施設 晴香園 「施設の紹介と現状の取り組みについて」 【委員会報告】 ■出席・親睦活動・ニコニコ委員会 諸事御祝(1件) ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■出席・親睦活動・ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 | 施設長 宮下宏幸様 小澤盛明副委員長 高橋修委員 小澤盛明副委員長 大川高明会長 |
| 13:30 | 点鐘 | |

<会長挨拶：大川高明会長>

最近働き方改革と称し、仕事の仕方が変わってきているようです。残業するな、早く帰れ、明日できることは明日にやれなど。私の偏見を持った意見ですがこんなことで世界の国々と戦っているか心配です。この件で「週休二日制」を最初に導入した松下幸之助さんのことを思い出しました。

週休二日制は、1965年に松下幸之助の号令のもと、松下電器産業（現パナソニック）が始めたそうで、他の企業が導入しはじめたのはそれから15年も後の1980年ごろなのだそうです。私が前の会社に入社して2年目ぐらいの1982年ごろに週休二日制導入されたと記憶しています。入社当時土曜日は半ドンと言っていたような気がします。公立小中学校及び高等学校の多くでは、2002年に毎週土日が休みになりました。

当時の日本企業はすべて、日曜日だけが休みの週休1日制。休みが1日増えるというのに、「いままで6日でやっていたことを5日にすることはできない」と、松下電器の労働組合からは、大きな反対があったそうです。

松下幸之助は、何を言ってそれを押し切ったのか。それは「1日休養、1日教養」という指針でした。「週休二日制は単に休みを2日にするものではない」、ということをおしやりたかったようです。1日休養にあて、1日教養にあてる。そうすれば、仕事の能率を飛躍的に上げられると考えていたようです。

皆さんは技能オリンピックをご存じでしょうか。いろいろな技能を世界中が競い合う大会です。

2017年「第44回技能五輪国際大会」がUAEのアブダビで開催されました。

結果は1位中国で金15個、2位スイスで金11個、3位韓国で金8個の結果でした。日本は3個で9位でした。

今年はロシアのカザンで開催された「第45回技能五輪国際大会」の結果は1位中国で金16個、2位ロシアで14個、3位韓国で金7個。日本が金2個でした。これはあくまでも一例ですが気がになりますね。

よくわかりませんが感じたことを発表させていただきました。



WEEKLY REPORT

<幹事報告：柳孝実幹事>

松戸ロータリークラブ

例会臨時変更のお知らせ

令和1年12月18日(水) 家族クリスマス例会(夜間移動例会)

場所：聖徳大学10号館14階 点鐘18時 受付開始17時30分

令和1年12月25日(水) 定款 第7条第1節により休会

令和2年 1月 1日(水) 定款 第7条第1節により休会



<卓話：「施設の紹介と現状の取り組みについて」

児童養護施設晴香園 施設長宮下宏幸様>

社会福祉法人晴香は、児童養護施設晴香園の他、近隣の小学校で放課後児童クラブ、放課後KIDSルーム、晴香園と同じ敷地の中で子どもショートステイ、こども館、一時預かり、児童家庭支援センターといった事業も行っており、様々な方面から子ども達をサポートしている法人です。

晴香園で暮らしている子ども達は、家庭で暮らせない事情があり、児童相談所の一時保護を経て晴香園で生活しています。

定員は40名で、現在40名の子ども達が6つのホームに分かれて暮らしていますが、そのうちの半数以上が中学生以上となっています。

昔は戦争などで親を亡くした子どもたちが孤児院で暮らしていましたが、今は全国的に虐待を受けて、児童養護施設に入所するという子どもが増えており、晴香園も同様です。中には学校に行けない子どもも暮らしていますが、昔と違って無理に学校へ行かせることだけが良いかというところではないので、職業訓練の体験に参加するなどその子その子にあった、自分の役割を果たせるような方向に進めるよう支援しています。

本来は高校卒業の18歳で卒園となりますが、社会へ出て行くための練習期間ということで、措置延長をしている子どもも居ます。また、高専へ通っている子どももいます。20歳過ぎても自立支援事業という制度を利用して家賃や、光熱水費を払うという社会生活を体験しながら晴香園で生活している子どもも居ます。

晴香園では「学ぶ力を高める」「社会参加する力を高める」「健康を保持する」「自尊心を保持する」の4つの目標を掲げ、子ども達の支援を行っています。

学ぶ力については、虐待から脳や情緒に障害があるであるとか、学習障害であるという子が多く、その子その子にあった学習の支援を行って行かないとどんどん遅れていってしまうので学習には力を入れて行こうと努めています。

社会参加する力については、通常ですと園の子ども達は高校を卒業し、18歳で社会に出ていくのですが、卒園後自立して生活できない子どもが出て来ています。社会で生きていくための手立てを在園中から子ども達に提供していかなければならないということで、社会参加する力を高めようとしているところです。

健康を保持することについては、一例ですが食事は6つのホームそれぞれで基本的には職員がホームごとに一般家庭の様に調理をするという形をとっています。職員の負担は多いのですが、なるべく子ども達も一緒に食事を作っていき環境を作る事で食育の推進も図っていきたいと思っています。

